



## 第29期 事業報告書

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

### 1 株式会社の現況に関する事項

#### 1-1 事業の経過及び成果

令和3年度は、第5期の新たな指定管理協定期間（4年間）の初年度でありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、引き続き厳しい状況が続いた年度となりました。

京都府に緊急事態宣言が二度発出（①令和3年4月25日～5月31日、②令和3年8月20日～9月30日<sup>※1</sup>）され、2年度に続き休館を余儀なくされました。その後、ワクチン接種が進み、一旦は小康状態となったものの、変異株の発現により蔓延防止等重点措置が発出されるなど、収束には程遠い状況が続きました。

また、これまで公益財団法人が担っていた京都伝統産業ミュージアムの運営を当社に一体化しましたが、お披露目も兼ね10月に予定していました「京都市勧業館開館25周年」記念講演会及び懇親パーティーも、感染状況が落ち着かず残念ながら中止しました。

このような状況の下、積極的な事業の展開はできませんでしたが、コロナ禍からの回復期における収益と顧客サービスの向上を目指し、施設の整備改修や安全・安心のレベルアップに取り組みました。

施設・設備面では、学術会議等のハイブリッド開催に対応するための光回線の整備、共用多目的トイレへのオストメイト設備の設置、エレベーター内監視カメラの設置、さらにミュージアムにおいては、インバウンド強化の取組として音声多言語対応の設備を導入しています。

また、ソフト面では、感染予防対策に万全を期し、京都市勧業館みやこめっせを安全・安心な施設としてご利用いただけるように、国際衛生基準となる「GBAC STAR<sup>TM</sup> 認証<sup>※2</sup>」を取得しました。

※1 みやこめっせは4月25日から5月31日まで休館

伝統産業ミュージアムは4月25日から5月31日まで及び8月20日から9月30日まで休館

※2 世界的な洗浄業界団体 ISSA にて洗浄、消毒及び感染症予防のプロトコールを実施する施設の運営基準を提唱している部門、Global Biorisk Advisory Council（GBAC）による国際的認証プログラム

#### (1)業績

コロナ禍における催事及びインバウンド客数の減少が続き、展示場等の施設利用料収入、ミュージアムショップ店舗売上、駐車場利用料収入ともに昨年度より改善したものの回復には至っていません。

施設利用取消料収入の確保に加え、ワクチン接種会場の利用増や京都市から

の伝統産業振興のための業務委託料収入等を計上いたしましたが、最終的に売上高は 561,455 千円（前年度比+111,751 千円、増加率 25%/前々年度比△134,952 千円、△19%の減）にとどまりました。

## (2) 損益

昨年度に引き続きコロナの影響を受け、経常損失は△39,873 千円となり、2期連続で赤字となりました。しかし本年度は、京都市から「公の施設が果たすべき機能を維持するため」として、特別に 70,000 千円を指定管理料（特別利益）として受けることができたことから、当期純利益は 26,254 千円となり、2期連続の赤字という状況は回避することができました。

### 【参考】

区分	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
1 株当たり当期純利益(円)	6,369	7,802	△68,708	14,585
総資産(千円)	732,715	752,069	801,351	827,713
純資産(千円)	527,701	541,746	418,070	444,324
1 株当たり純資産額(円)	293,167	300,970	232,261	246,847

## (3) 営業状況

### ア 展示場等年間稼働率

コロナ禍ではありましたが、営業活動の強化と主催者、ご利用者の皆様の感染防止対策の徹底等により、稼働率は昨年度に比べ大幅な伸びとなりました。ただ、ほぼ年間を通して、京都市にワクチン接種会場としてご利用いただけたことが稼働率の向上につながっていることから、未だ本格的な回復基調といえるものではないと考えています。

8月20日から9月30日までは京都府に緊急事態宣言が発出されていたものの、一定の条件を満たす催事は開催が認められたことから、「京都国際マンガ・アニメフェア」、「書道展」等の大規模催事も開催していただくことができました。また、12月以降オミクロン株の発現により稼働率が伸び悩みましたが、3月は「インターナショナルギフトショー」や「大学の卒業式」等の大型催事が予定通り開催されました。ただ、これまで例年ご利用いただいていた「弓道全国競技審査大会」、「京料理展示大会」、「京都マラソン」等2期連続で中止またはオンライン開催となった大規模催事も多く、さらに3年度に開催いただける予定であった学術会議5件のうち、リアル開催は2件にとどまり、中止1件、オンライン・ハイブリッド形式2件となるなど、コロナ禍の影響は大きく影を落としています。

その結果、年間を通しての稼働率は36.98%※、来館者数も665,024名で、昨年度(332,375名)からは倍増したものの、コロナ禍前3年間平均(1,228,517名)の約54%にとどまっています。

※ 2年度稼働率：20.26% 開催件数：150件  
元年度稼働率：50.71% 開催件数：376件

#### イ 京都伝統産業ミュージアム

令和3年度から当社が運営を担うこととなりました。

京都市の要請により4月から5月、8月から9月に計75日間の臨時休館を余儀なくされました。この休館措置により、自主企画展「スペースマウンティング」は会期中で終了、ディズニーとのコラボ展「ディズニー／京都伝統工芸シリーズ展示会」も2度の延期となり、2月にようやく開催できました。

また、京都市から「京都市伝統産業品販売促進支援事業」を受託し、2月から3月にかけて「CRAFT POINT KYOTO」等のイベントを実施しました。

ミュージアムショップ店舗においても、コロナ禍でインバウンド需要が消失し、大変厳しい状況が続きました。1月には「珈琲とうつわ展」としてショップの企画展を実施するなど販売強化に努めましたが、商品売上は12,776千円と、下方修正した目標の72%にとどまりました。また、コロナ禍でも影響を受けにくいオンラインショップも比較的堅調に推移したとはいえ、11,028千円の売上(年度当初目標比85%)にとどまりました。

インバウンドの回復を見据え、京都の伝統産業を体験・見学できる「工房コンシェルジュ」事業について、富裕層、団体顧客向けに内容を見直しましたが、まだ収益拡大に寄与するところまでには至っていません。

#### ウ 駐車場利用料収入

稼働率及び来館者数が伸びない中、駐車場利用料収入は、60,428千円(前年度比+30,461千円)増加率102%となりました。ワクチンの接種に自家用車で来館される方が多かったことが収入増の主要因と考えていますが、それでもコロナ禍前3年間平均(80,856千円)の約75%にとどまっています

### 1-2 当該事業年度における主要な事業内容

#### (1) 京都市勸業館みやこめっせ事業

展示場及びその付随施設、会議室、ギャラリーの賃貸及び管理運営、催事の企画運営サービス、駐車場管理

#### (2) 京都伝統産業ミュージアム事業

京都伝統産業ミュージアムの運営、ミュージアムショップ及びオンラインショップ等による伝統工芸品の販売、企画展の実施、京都市受託事業の実施

#### (3) 自主企画事業

産業振興、文化向上、地域貢献に資する事業の実施

### 1-3 当該事業年度における主要な営業所及び使用人の状況

#### (1) 主要な営業所

本店 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

(2) 使用人の状況（令和4年3月31日現在）

区分	従業員数 (人)	前事業年度 末比増減(人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)
男性	15 (0)	7 (0)	52	6
女性	26 (14)	11 (8)	49	6
合計又は平均	41 (14)	18 (8)	50	6

注 ( ) 内は臨時社員の内数，特定イベントの臨時要員を除く。

1-4 主要な借入先

(令和4年3月31日現在)

借入先	借入金 の残高(円)
株式会社三菱UFJ銀行	15,000,000
株式会社京都銀行	15,000,000
京都信用金庫	15,000,000
京都中央信用金庫	15,000,000
合計	60,000,000

2 株式に関する事項

2-1 株式の状況

発行可能株式の総数 4,000 株  
発行済株式の総数 1,800 株

2-2 当事業年度末の株主数

9名

株主名	当社への出資状況	
	株式数	持株比率(%)
京都市	1,080	60.0
京都府	100	5.6
京都商工会議所	100	5.6
公益財団法人京都伝統産業交流センター	100	5.6
公益社団法人日本図案家協会	100	5.6
株式会社三菱UFJ銀行	90	5.0

(次ページへ続く)

株主名	当社への出資状況	
	株式数	持株比率(%)
株式会社京都銀行	90	5.0
京都信用金庫	80	4.4
京都中央信用金庫	60	3.3
合計	1,800	100.0